



ほぼ ほぼ わかる  
デジタル用語集

公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・  
コンサルタント・相談員協会 (NACS) 西日本支部

くらしの情報発信研究会 (TIPS)

## はじめに

ネットサービスには、わからないカタカナ言葉がたくさん出てきます。どういう意味だろうと調べても、その説明の中にもわからないカタカナが出てきて「もういいや」と、わかることを諦める人が多いのが現状です。

「もういいや」でもなんとか使える人はまだしも、使うことを断念する人がいる状態は、ネット社会を生きる今、何とかしたいもの。そこで「どんな人にもわかる」を目標に、誰でもわかる用語集を作ろう！と取り組んだのが、この『ほほほわかるデジタル用語集』です。

この冊子は、上記の趣旨から「正確さ」はあまり追求せず、「だいたいわかる」を目指しました。そのため専門の方が読むと「えっ!ちょっとそれは正しくない」と思われるところも多いかもしれませんが、そこはお許しください。誰もがだいたいわかり、何とかデジタルサービスが使えるようになる。それがこの冊子の目標だからです。

とりあえず出してみたこの第一弾。「ここがまだ難しいよ」なども含め、感想も是非お聞かせください。これを完成形とせず、今後も「誰もがなんとかわかる」を追求していきたいと考えています。

この初めての試みが、皆さまのお役に立てることを願っています。

くらしの情報発信研究会 (TIPS)

## くらしの情報発信研究会 (TIPS) とは

公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 (NACS) 西日本支部に属する自主研究会です。

2006年の発足以来、消費者問題を効果的に発信するための手法を研究しています。現在会員は20名。週に一度、メンバーがリレー形式でメルマガ「TIPS通信」を発行しています。「note」「Facebook」でも発信中です。

TIPSは「The Team of Information Producers on Simple Living」の略称です。

# 目次

<b>1</b>	<b>最初に知っておこう（ほぼほぼ必要）</b>	4
<b>2</b>	<b>ネットサービスを使う</b>	6
①	通販サービスを利用する	6
②	オンライン会議に参加する	8
<b>3</b>	<b>スマートフォンを使う</b>	10
①	自分のスマホを理解する	10
②	写真を撮る・保存する	12
③	音楽を聴く・動画を見る	18
<b>4</b>	<b>金融サービスを使う</b>	22
①	ネットバンキングを使う	22
②	スマホ決済を使う	27
	索引	30

# 1 最初に知っておこう(ほぼほぼ必要)

## ● アカウント

インターネット上のサービスを利用する権利のこと。銀行の口座のようなもの。初めに「ID」と「パスワード」を設定して登録する。

## ● ID(アイディー)

アカウントを作るために必要な「名前」のようなもの。メールアドレスを代用するところもある。



A graphic showing a login form with two input fields. The top field is labeled 'ID' and the bottom field is labeled 'PASS'. Below the fields is a button labeled 'OK'.

## ● パスワード

アカウントを守る「鍵」のようなもの。数字やアルファベット、記号などを組み合わせて作る。大文字・小文字を混ぜて、文字数を多くすると、セキュリティが高まる。

## ● ログイン(ログオン・サインイン)

IDとパスワードを入力して本人確認をし、サービスを使えるようにすること。

## ● ログアウト(サインアウト)

利用しているサービスを終了すること。





## アカウントと個人情報

アカウントを作ると、プロフィールの入力を求められることがあります。生年月日など、大切な個人情報は、できるだけ書かないようにしましょう。必須項目になっていても、必要だと思えなければ「適当な日を書いておく」という手もあります。自分の情報を守る視点も大切です。



## 記録しておく

IDとパスワードはもちろんのこと、アカウントに登録した情報もすべて記録しておきましょう。ノートに手書きでメモする以外にパソコンやスマホで管理する方法もあります。後者の場合は、ウイルス感染による情報流出を考えて、管理ネットサービスを利用することも考えたいところです。その場合、無料版より有料版がより安心です。



## アドレス変更時の注意点

メールアドレスを変更する時は、そのアドレスを使用したアカウントも見直しましょう。先にアドレスを変更してしまい「アカウントに入れない!」ということも多発しています。メールアドレス変更時は、変える前にそのアドレスに紐付いたアカウントはないか、要チェックです。

## 2 ネットサービスを使う

### ① 通販サービスを利用する

ネットで買い物をしようと**サイト**をあれこれ見ましたが、どれがいいか選べず、結局、**検索サイト**で買いたい商品を調べて価格を比べました。一番安かったのはA通販サイトでした。有名だし安心かなと、A通販サイトの会員登録をしました。**ホームページ**も見やすく、買い物がしやすいです。



### ● サイト(webサイト:ウェブサイト)

情報が書かれたページが、一冊の本のようにまとまったもの。



### ● 検索サイト

インターネット上で知りたい用語や情報を検索できるサイトのこと。「Yahoo!」や「Google」など<sup>※1</sup>がよく使われている。



※1 本冊子に記載の社名および商品名は、各社の商標または商標登録です。

## ● ホームページ

サイトの表紙にあたるページのこと。サイトと同じ意味に使うことも多い。トップページ・フロントページとも呼ぶ。



### ホームページ? サイト?

日本でネットが普及するにあたって、サイトのことを「ホームページ」と紹介されたことから、「ホームページ」という言葉がまず広まりました。英語では「web」と称されることから、日本でも「webサイト」と呼ばれることが増え、定着し始めました。ネットに慣れてきたら「webページ」「webサイト」と言ってみると、初心者から卒業した気分が味わえます。



### 検索の注意点

検索サイトを利用して調べ物をする時、  
上位に出てくるものが正しい情報だと



思ってしまうがちですが、そうではありません。検索の順位はサイトのさまざまな意図で上下します。同じ言葉で検索をしても、人によって、またパソコンとスマホでも異なる結果になることがあります。また、「広告」も検索結果画面の一番上や下に並んで表示されます。まずは「広告」の表示があるかないかを確認し、区別しましょう。さらに「発信者」「情報源」などをチェックし、信頼度を見極めながら利用していくことが大事です。



## ② オンライン会議に参加する

オンラインで会議をすることになりました。まずは使いたいサービスの**アプリ**をパソコンに**ダウンロード**しました。さらに**インストール**。使える機能が増えるというのでアカウントも作りました。使う前には最新に**アップデート**することも忘れずにやっています。



### ● アプリ (アプリケーションソフトウェア)

Yahoo!メールなど「メール」、Googleマップなど「地図」、Zoomなど「会議」のように、特定の目的のために作られたプログラム (ソフトウェアと呼ぶ) のこと。



### ● ダウンロード

インターネット上のほしいデータ (アプリ・画像・動画など) を、自分のパソコンやスマホに取り込むこと。

### ● インストール

アプリなどをパソコンやスマホで使用できるようにする作業のこと。

### ● アップデート

アプリなどソフトウェアやデータを最新の状態に更新すること。



## ダウンロードしたのに使えない?

スマホでは、アプリをダウンロードすると、インストールまで一連で行われますが、パソコンではダウンロードとインストールの手順が分かれています。アプリを使えるようになるには、ダウンロードだけでなく、インストールまで行う必要があります。



## アップデートは大切

ネットサービスを使っていて、アップデートを全くせず、古いバージョンのまま使っている人がたまにいますが、危険です。サービス提供側は、随時機能の追加や改善、セキュリティの向上などを行うので、更新情報には敏感になり、アップデートの案内が出ていたら、すみやかに更新作業を行いましょう。



## アプリと料金

アプリは無料のものと有料のものがあります。また無料でも「課金」表示があるアプリは、アプリ内で使う有料のサービスや機能が用意されています。アプリ利用で発生した料金は、クレジットカードやプリペイドカード (iTunesカードやGoogle Playギフトカードなど) を利用、または携帯電話料金と一緒に支払います。



## 3 スマートフォンを使う

### ①自分のスマホを理解する

スマホを買って使い方講座に参加しました。

スマホの種類は大きく2つに分かれます。

Android(アンドロイド)とiOS(アイオーエス)です。どちらを使っているかで使い方が少し違います。BさんはAndroidなので、まずGoogleアカウントを、私はiOSなので、Apple IDをそれぞれ作りました。

続いてスマホにパスコードを設定します。スマホにはいろいろな認証方法があります。私は指紋認証を設定しました。そのあと、便利だというアプリもダウンロードすることにしました。BさんはPlayストア、私はApp Storeで選びました。



### ● Android(アンドロイド)・iOS(アイオーエス)

スマホを操作したり、アプリを使ったりするための土台となるプログラム(OSとか基本ソフトウェアと呼ぶ)のこと。AndroidはGoogleの、iOSはAppleのプログラム。パソコンでいうWindowsやMacのこと。iOSはiPhone( 아이폰)と表現することが多い。iPhone以外のスマホは、ほぼほぼAndroid。

## ● Googleアカウント・Apple ID

Google・Appleの機器やサービスを利用するときに使うアカウント。Google・Apple用のパスポートみたいなもの。

## ● パスコード

パスワードの数字版。初めに登録した4桁や6桁の数字（コード）を入れることで、スマホにかかっているロックが解除され、使用することができる。パスワードや暗証番号と書かれている機種もある。



## ● 認証

本人確認を行うこと。事前に設定したパスコードや指紋、顔などで確認する。



## ● Playストア・App Store

アプリのお店。Androidは「Playストア（プレイストア）」、iOSは「App Store（アップストア）」と呼ぶ。

## ② 写真を撮る・保存する



写真を撮るのが好きで、どこかに行ったり食べたりするたびに撮っていたら、ある日iCloudから「ストレージの空き容量が不足しています」と表示されました。そこで容量が大きいGoogleフォトに写真を移すことにしました。

SNSの投稿はいつもスマホから行っていましたが、持っている端末すべてを同期させたので、パソコンからもスマホで撮った写真を簡単にSNSに投稿(アップロード)できるようになりました。

## ● iCloud(アイクラウド)

Apple製の端末(iPhoneやiPadなど)で使えるサービス(クラウドサービス)。写真やメールなど端末にあるデータをネット上に保存し、各端末で共有することができる。無料は5GB(ギガバイト)まで。ただし、端末を買い替えた時は、空き容量が足りなくても、データ移行のための旧スマホデータのコピー(バックアップ)が21日間無料で保存される。



## ●ストレージ

データを保存しておく場所。スマホやパソコンなどの内部に保存するものや、外付けハードディスクやUSBなど外部に保存するもの、iCloudやGoogle ドライブなどオンラインで保存するものがある。それぞれ内部ストレージ、外部ストレージ、オンラインストレージ（クラウドストレージ）と呼ぶ。



## ●Googleフォト

Googleが提供する写真、動画を保存できるサービス（オンラインストレージサービス）。Googleアカウントを作成することで利用できる。画質を縮小すれば無料で無制限に保存ができたため利用者が多い。（P17「Googleフォトに容量制限」を参照）

## ● 端末

パソコン・スマホ・タブレットなどの機器のことで、デバイスとも呼ばれる。通信できる機器全般をさすこともある。



## ● 同期

スマホやパソコンなど異なる端末同士で、ファイルやフォルダなどのデータを同じ状態に保つことができる機能。例えばスマホでカレンダーに新たな予定を入れると、パソコンでも最新のカレンダーが見られる。



## ● アップロード

SNSへの投稿のように、自分のスマホやパソコンからインターネットを介して相手のコンピューターにデータ（画像・動画など）を送ること。



## 空き容量と不具合

内部ストレージの空き容量に余裕がなくなると、端末自体の動作に不具合が起こる場合もあります。快適に端末を動作させるためには、定期的に不要なデータを削除したり別のストレージにデータを移動させたりして、空き容量に一定の余裕を確保するようにしましょう。スマホにインストールしたアプリのうち、不要なものを削除するだけでもストレージの空き容量を増やすことができます。



## 同期のデメリット

同期は便利ですが、注意すべきこともあります。まずデータのアップロードや、やり取りなど、常に通信を行っているため通信量が増えます。「同期する項目を絞る」「自動同期にするものを選ぶ」「Wi-Fiを利用する」などの工夫が必要です。また同期するデータはサーバー（企業側のコンピューター）上に保存されるため、個人情報や重要データなど、外部に漏れると困るものの扱いには慎重さが必要です。デメリットも考慮して細かく設定し、上手に利用していきたいものです。





## そもそもクラウドって何？

クラウドとは、クラウドコンピューティングの略で、インターネットを經由して利用できるサービスの総称です。

これまでは自分のパソコンにソフトウェアをインストール、またはライセンスを購入して使っていたサービスを、ネットワークにつなげるだけで利用できるのがクラウドサービスです。多くの人が意識せずに利用していますが、YouTubeやオンラインゲーム、TwitterなどのSNSもクラウドを使ったサービスです。写真やデータを保存するオンラインストレージはクラウドの代表例です。



## EメールとWebメール

Eメールはパソコンメールのことをいいます。プロバイダー契約をした時にもらえます。Webメールは、Gmail

やYahoo!メールなどフリーメールと呼ばれるものです。そのサービスのアカウントを作れば無料で使えます。このWebメールもクラウドサービスの一つです。



## Googleフォトに容量制限

1つのGoogleアカウントには15GBの無料ストレージがついていますが、これまでGoogleフォトは別枠でした。ところが2021年6月からはフォトも15GBの対象になりました。無料で使えるのは、「ドライブ」「Gmail」「フォト」のデータを合せて、15GBまでなので注意が必要です。ただし、2021年6月以前に保存した写真や動画（画質による）は、15GBにはカウントされず、容量制限からは除外されます。利用者は一度自分の現在の保存容量を確認しておくことも大事です。



## データ量と契約

スマホの契約では、使用データ量よりもはるかに多い高額なデータプランで契約している人もいます。まずは最低限のデータプランで契約し、足りなければ見直します。1か月にどのくらい使うかは、携帯会社の会員専用ページ（MY〇〇）などで確認できます。データ量が大きい動画などをよく見る人は、自宅のWi-Fi使用時のみにするなど工夫をすれば、安い料金の少ないデータプランでも楽しむことができます。データの単位は小さい順にB（バイト）<KB（キロバイト）<MB（メガバイト）<GB（ギガバイト）<TB（テラバイト）です。それぞれ1000倍すると次の単位になります。



### ③ 音楽を聴く・動画を見る

自由にいろいろな音楽を楽しめる  
サブスクの音楽配信サービスを申し込

みました。3か月無料のお試し期間があって、それを過ぎると1か月980円です。料金は**キャリア決済**で支払っています。スマホの**Bluetooth**をオンにして、ワイヤレスイヤフォンとつなげ、運動しながら音楽を楽しんでいます。動画サービスも申し込もうか考え中です。



#### ● サブスク(サブスクリプション)

料金を支払った期間、商品やサービスを使う  
利用権を得ること。Amazon Prime・Hulu・  
Netflixなどの動画サービスや、Spotify・

Apple Music・LINE MUSICなどの音楽配信を始め、本や雑誌、洋服のレンタルなどさまざまな分野に広がっている。



#### ● キャリア決済

携帯電話料金と一緒に料金を支払う決済方法。携帯会社(キャリア)のIDとパスワード、契約時に設定した暗証番号を入力する。

## ●Bluetooth

無線通信の一つ。近くにあるデジタル機器同士を、ケーブルで接続せずにつなぐことができる。



### 有料利用の確認

Google PlayストアやApp Storeなど、スマホのアプリストアから購入したものはスマホで確認できますが、ストアを経由しないで、アプリやサービスと直接契約したものは、スマホ上の購入履歴に記載されません。サブスクなど継続して支払うものは契約更新月をカレンダーなどに記録したり、更新のお知らせ設定をしたりなど、見直しができるようにしておきましょう。



## サブスクのお試しに要注意

サブスクでは無料お試し期間を設けているところが多いのですが、お試し期間が終われば、自動的に有料に移行するサービスもあります。料金が引き落とされて初めて有料契約をしたことを知る人もいます。サービス側が「間もなくお試し期間が終わります」と知らせてくれるところもありますが、自らお知らせが来る設定にする必要があるところや、そもそもお知らせ設定がないところもあります。お試しを利用する場合は、無料期間をしっかりチェックしましょう。



## 解約方法も要チェック

サブスクでは、解約方法が複雑でわかりにくく、サービスを止めたいのに止められなくて困る事例も出ています。入会する際は、解約方法もチェックしましょう。どのサービスにするか迷った時は、サービス内容だけでなく、解約方法のわかりやすさも選ぶポイントです。



## BluetoothとWi-Fiどう違う?

どちらも近距離無線通信方式の一種。Wi-Fiは数百メートル先まで電波が届きますが、Bluetoothは数十メートルしか届きません。通信速度もWi-Fiの方が圧倒的に速いのですが、消費電力はBluetoothの方が少なく、バッテリーの消耗を抑えながら長時間使用することが可能です。そのためBluetoothは、ワイヤレスのイヤホンやキーボード、マウスなど、近距離にある機器につなげるのに適しています。



## 4 金融サービスを使う

### ① ネットバンキングを使う

A銀行のネットバンキングを利用して振り込みをしようとアカウントにログインしました。振込先と金額を指定したあと、**トークン**を使って**ワンタイムパスワード**を入力するようにとの指示。よくわからないのでB銀行のネットバンキングを利用しようとしたら、**秘密の質問**の答えを忘れてログインもできません。**SMS**で追加認証も求められたけどどうすればいいのだろう。

**二段階認証**ってそもそも何？



### ● ワンタイムパスワード

一回限り有効なパスワードのこと。重要な取引の際に本人確認のパスワードとして使われる。一度使ったワンタイムパスワードは短時間で無効となり、毎回新しいパスワードを取得する必要がある。

## ● トークン

取引をする時に必要なワンタイムパスワードを表示するもの。専用機器（カード・キーホルダー・USBなど）を使う場合と、スマホのアプリを使う場合とがある。専用機器を無くした場合、再発行する費用は利用者負担になるので注意が必要。





## ● 秘密の質問(秘密の合言葉)

本人確認のために入力させる合い言葉のようなもの。「ペットの名前は?」「生まれた都市は?」など、用意されている質問から選び、その答えとセットで登録する。真面目に答えると推察されやすいので、「ポチと名付けたのはお父さん」など答えを単純にしないことも大事。

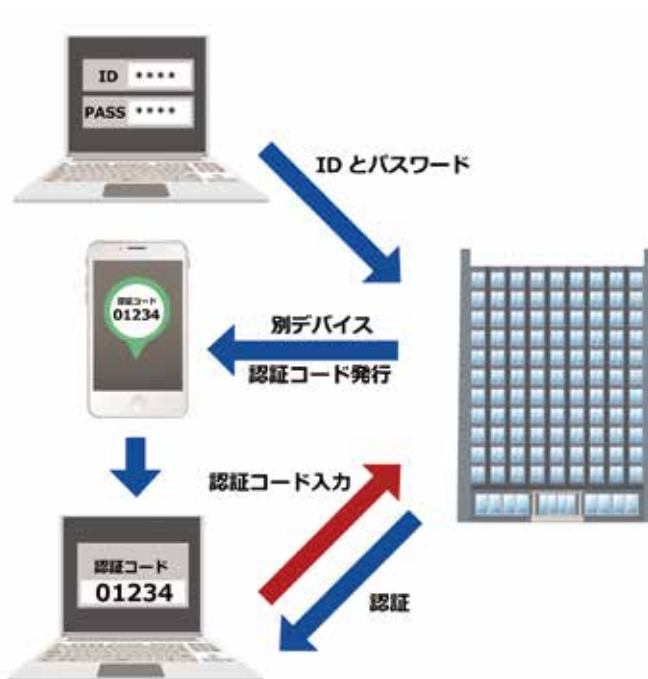
## ● SMS(ショートメッセージサービス)認証

SMSは電話番号宛てにメッセージを送るもの。このSMSを使ってメッセージとともに4桁や6桁の番号が送られてくるので、その番号をネットサービスのログイン画面に入力して認証する。IDとパスワードを盗まれても、スマホが手元になければ認証できないのでセキュリティが高まる。



## ●二段階認証

本人かどうかを確認する方法。2つの異なる情報や方式を組み合わせる。本人が知っている情報（ID・パスワードなど）や本人が持っているもの（スマートフォンや番号表など）、または生体情報（顔や指紋など）から2種類を組み合わせる。認証することが多い。





## 秘密の質問とセキュリティ

2015年、Googleは、「秘密の質問」について、「アカウント復旧の仕組みとしてそれだけで利用するにはセキュリティも信頼性も不十分である」という調査結果を発表しました。質問の答えが簡単な場合はハッカーなどに見破られてしまい安全とはいえ、難しい答えを設定した場合には利用者が答えられないため役に立たない、というのがその理由です。



## 何と何を組み合わせる?

かつての二段階認証は、本人の持っている情報2つ（パスワードと秘密の質問など）で認証することが一般的でしたが、同じタイプのを2回続けても安全性はそれほど高められないことから、近年は異なる方式（パスワードと顔認証など）を組み合わせることが増えています。ちなみに異なる方式を2つ組み合わせることを正式には「二要素認証」といいます。

## ② スマホ決済を使う

近くのコンビニで買い物をします。このコンビニでは〇〇ペイ（QRコード※2決済）やスマホをかざす（非接触型IC決済）など、スマホを使って支払いができます。残高が足りないときは、チャージもできます。スマホに生体認証を登録すると安心です。

### ● QRコード決済（バーコード決済）

PayPay、LINE Pay、メルペイなど、専用のアプリをスマホに入れて行う決済。店側のコードを自分のスマホで読み取る方式と、店に自分のコードを読み取ってもらう方式がある。



### ● 非接触型IC決済

スマホに搭載されたFeliCaなどの無線通信技術を利用した決済。決済アプリにクレジットカードや電子マネーなどを登録しておく、専用端末にスマホをかざすだけで決済ができる。交通系カードを登録したモバイルSuicaやクレジットカードを登録したiDなどがある。



---

※2 「QRコード」はデンソーウェーブの登録商標です。

## ●チャージ

スマホやカードなどの決済サービスに入金して残高を増やすこと。現金の他に、銀行口座やクレジットカードと紐づけて入金。またキャリア決済を利用して入金できるものもある。



## ●生体認証

顔や指紋などの生体情報を使って、本人を識別する仕組み。





## スマホ決済の注意点

スマホ決済では被害も増えています。セキュリティ対策は重要です。普段からスマホにロックをかけておき（生体認証がお勧め）、紛失・盗難時には決済サービスの利用停止も行います。また電源が切れたり、システム障害があると使えなくなることも考慮しましょう。二重払いなど、サービス側の不具合も起っています。定期的に支払い履歴も確認。スマホ決済は十分な知識が求められます。自信のない人は「使わない」というのも一つの選択です。



## スマホと情報格差対策

スマホで防災情報を流す、スマホ決済アプリを使い、地域の店を応援するキャッシュバックを行うなど、スマホを利用する自治体が増えています。スマホを使っている人にとっては便利でお得ですが、持っていない人は取り残されがちです。スマホサービスが一般化する中で、使える人と使えない人との情報格差（デジタルデバインド）は大きな問題です。そんな中、2021年9月東京都渋谷区とKDDIが共同で、高齢者を対象にした実証実験を始めました。区内に住む65歳以上の高齢者にスマホを2年間無償で貸し出して、利用状況を分析し、情報格差の解消につなげるというものです。スマホ決済・健康管理・防災のアプリをインストールしてもらい、利用データを収集します。使い方の勉強会や、コールセンターの開設も行っています。効果的な対策につなげてほしいものです。

## 索引

### A

- App Store .....11
- Apple ID .....11
- Android .....10

### B

- Bluetooth .....19

### G

- Googleアカウント .....11
- Googleフォト .....13

### I

- iCloud .....12
- ID(アイディー) ..... 4
- iOS .....10

### P

- Playストア .....11

### Q

- QRコード決済 ..... 27

### S

- SMS認証 ..... 24

### ア

- アカウント ..... 4
- アップデート ..... 8
- アップロード .....14
- アプリ ..... 8

### イ

- インストール ..... 8

### キ

- キャリア決済 .....18

### ケ

- 検索サイト ..... 6

## 索引

### サ

サイト …… 6

サブスク …… 18

### ス

ストレージ …… 13

### セ

生体認証 …… 28

### タ

端末 …… 14

ダウンロード …… 8

### チ

チャージ …… 28

### ト

トークン …… 23

同期 …… 14

### ニ

二段階認証 …… 25

認証 …… 11

### ハ

パスコード …… 11

パスワード …… 4

### ヒ

秘密の質問 …… 24

非接触型IC決済 …… 27

### ホ

ホームページ …… 7

### ロ

ログアウト(サインアウト) …… 4

ログイン(ログオン) …… 4

### ワ

ワンタイムパスワード …… 22



## ほぼほぼわかるデジタル用語集

---

2022年3月 第1版発行

---

編集 暮らしの情報発信研究会  
発行者 暮らしの情報発信研究会  
《連絡先》 west-tips@nacs.or.jp  
デザイン ㈱エフ・クリエイションズ

---

©2022 暮らしの情報発信研究会  
本書内容の無断転載を禁じます。

**TIPS**

くらしの情報発信研究会